

令和6年度（2024年度）

ヒューマンウェアイノベーション  
博士課程プログラム

履修の手引き

別冊：特別選抜生用 履修ガイド

令和6年4月



# 目次

1. 履修年限と修了要件.....	1
2. 研究科 1 年次修得単位の本プログラムでの取り扱い .....	3
◇ヒューマンウェア領域基礎科目 .....	3
◇ヒューマンウェア領域コア科目『ヒューマンウェア領域基礎研究』 .....	3
3. 研究科 10 月入学の履修生の科目履修 .....	7
(1) 【秋入学生】『ヒューマンウェア融合領域研究』の履修方法 .....	8
(2) 【秋入学生】『ヒューマンウェア融合領域プロジェクト研究』の履修方法 .....	8

# 1. 履修年限と修了要件

## ◇履修年限

本プログラム課程の履修年限は5年です。ただし、本プログラム課程の履修は研究科に在籍している必要があります。従って、特別選抜生が研究科を5年で修了する場合には、本プログラム課程を4年で早期修了する必要があります。

## ◇修了要件

特別選抜生も、本プログラム課程を修了するための要件は同じです。

## ◇早期履修

本プログラム課程の早期修了のために、特別選抜生には各科目の早期履修を強く推奨します。従って、特別選抜生は各研究科での学年を基準に、本プログラムにおける各学年の該当科目を履修することを強く推奨します（ただし本プログラム初年度、すなわち各研究科2年次には、本プログラムの1年次該当科目および2年次該当科目の両方ともを満たしてください）。各科目の推奨履修学年は下記となります。

## ◇推奨履修学年

- ▶ 研究科2年次(M2相当) (プログラム履修1年目)
  - ヒューマンウェアイノベーション創出論 (必修)
  - ヒューマンウェアセミナーA/B (選択必修)
  - ヒューマンウェア領域基礎研究A/B (選択必修)
  - ヒューマンウェア領域基礎科目 (選択)
  - ヒューマンウェア融合領域研究A/B (選択必修)
- ▶ 研究科3年次(D1相当) (プログラム履修2年目)
  - ヒューマンウェア融合領域プロジェクト研究A/B (選択必修)
- ▶ 研究科3,4年次(D1,2相当) (プログラム履修3年目)
  - インターンシップ(長期) A/B (選択必修)
  - インターンシップ(短期) A/B (選択必修)
  - 海外インターンシップ(長期) A/B (選択必修)
  - 海外インターンシップ(短期) A/B (選択必修)
  - ヒューマンウェア価値創造実践 (選択必修)
  - ヒューマンウェアイノベーション実践特論 (選択)
- ▶ 研究科4年次(D2相当) (プログラム履修4年目)

- ヒューマンウェア PI 融合領域プロジェクト研究 A / B (選択)

### ◇推奨履修学年参考表

各研究科での学年を元にした、推奨履修学年表は以下です。なお、各研究科1年次で習得した内容の一部は、本プログラムの目指す博士人材に必要な内容であるため、ヒューマンウェア領域基礎研究の一部またはヒューマンウェア領域基礎科目として考慮されます。

本プログラム 学年		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
研究科学年	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
ヒューマンウェア 領域コア科目	ヒューマンウェア 領域基礎研究 (履修登録しない、次章参照)					
		ヒューマンウェア イノベーション 創出論 A  ヒューマンウェア セミナー A  ヒューマンウェア 融合領域研究 A	ヒューマンウェア 融合領域 プロジェクト研究 A	ヒューマンウェア PI 融合領域 プロジェクト研究 A	ヒューマンウェア イノベーション 実践特論	
ヒューマンウェア インターンシップ			インターンシップ (長期) インターンシップ (短期) 海外インターンシップ (長期) 海外インターンシップ (短期) ヒューマンウェア価値創造実践			
ヒューマンウェア 領域基礎科目	12 単位以上					
試験など		Pre-QE	R-QE		最終 試験	

## 2. 研究科1年次修得単位の本プログラムでの取り扱い

特別選抜生は、履修の手引き本紙の取り扱いに加え、以下が考慮されます。

なお、研究科1年次に、情報科学研究科が開講するヒューマンウェア科目を修得済みの場合は、プログラム修了要件単位として認められますので、再度履修する必要はありません。

### ◇ヒューマンウェア領域基礎科目

特別選抜生がまだ本プログラムを履修していなかった各研究科1年次において、本プログラムのいずれかの年度の履修の手引きにヒューマンウェア領域基礎科目として記載がある科目(もしくは所属研究科毎に領域基礎科目として認めると記載のある科目)の単位を修得している場合は、これをヒューマンウェア領域基礎科目として本プログラムの修了要件単位に含める。

### ◇ヒューマンウェア領域コア科目『ヒューマンウェア領域基礎研究』

「ヒューマンウェア領域基礎研究」が指定する産学講義、企業訪問、アイデアソンなどの講義を修得することで、所属研究科の既修得単位を「ヒューマンウェア領域基礎研究」に代わる本プログラムの修了要件単位に含める(具体的には、以下所属研究科・専攻毎に定義する)。「ヒューマンウェア領域基礎研究」の履修登録は行わないこと。

#### (1)情報科学研究科

情報科学研究科所属の特別選抜生は、研究科1年次に以下の研究科科目の単位を修得しており、これに加えて、研究科科目である『ヒューマンウェアイノベーション入門(2単位)』を修得することで、プログラムの『ヒューマンウェア領域基礎研究AまたはB(6単位)』を修得したものとみなす。

##### ▶ 《情報数理学専攻》

専攻基礎科目：『情報数理学研究 I(3単位)』、  
『情報数理学演習 I(2単位)』  
及び『情報数理学演習 II(2単位)』

##### ▶ 《コンピュータサイエンス専攻》

専攻基礎科目：『コンピュータサイエンス研究 Ia(2単位)』、

『コンピュータサイエンス研究 Ib(2 単位)』  
及び『コンピュータサイエンス演習 I(2 単位)』  
または『インタラクティブ創成工学基礎演習 A(4 単位)』のいずれか

▶ 《情報システム工学専攻》

専攻基礎科目：『情報システム工学研究 Ia(2 単位)』、  
『情報システム工学研究 Ib(2 単位)』  
及び『情報システム工学演習 I(2 単位)』  
または『インタラクティブ創成工学基礎演習 A(4 単位)』のいずれか

▶ 《情報ネットワーク学専攻》

専攻基礎科目：『情報ネットワーク学研究 Ia(2 単位)』、  
『情報ネットワーク学研究 Ib(2 単位)』  
及び『情報ネットワーク学演習 I(2 単位)』

▶ 《マルチメディア工学専攻》

専攻基礎科目：『マルチメディア工学研究 Ia(2 単位)』、  
『マルチメディア工学研究 Ib(2 単位)』  
及び『マルチメディア工学演習 I(2 単位)』  
または『インタラクティブ創成工学基礎演習 A(4 単位)』のいずれか

▶ 《バイオ情報工学専攻》

専攻基礎科目：『バイオ情報工学研究 Ia(2 単位)』、  
『バイオ情報工学研究 Ib(2 単位)』  
及び『バイオ情報工学演習 I(2 単位)』  
または『インタラクティブ創成工学基礎演習 A(4 単位)』のいずれか

## (2)生命機能研究科

生命機能研究科の1年次のC群研究科目を修得しており、これに加えて本プログラムが指定する産学講義、企業訪問、アイデアソンなどの講義を修得したと認定された場合は、生命機能研究科のC群研究科目の単位をヒューマンウェア領域基礎研究 A（6 単位）に代わる本プログラムの修了要件単位に含める。

### (3)基礎工学研究科

基礎工学研究科の以下の単位を修得しており、これに加えて本プログラムが指定する産学講義、企業訪問、アイデアソンなどの講義を修得したと認定された場合は、基礎工学研究科の以下の単位をヒューマンウェア領域基礎研究A（6単位）に代わる本プログラムの修了要件単位に含める。

#### ▶ 《機能創成専攻（非線形力学領域）》

基礎専門科目：『非線形力学ゼミナールⅠ（1単位）』、  
『非線形力学ゼミナールⅡ（1単位）』、  
『非線形力学研究Ⅰ（2単位）』  
及び『非線形力学研究Ⅱ（2単位）』

#### ▶ 《機能創成専攻（機能デザイン領域）》

基礎専門科目：『機能デザインゼミナールⅠ（1単位）』、  
『機能デザインゼミナールⅡ（1単位）』、  
『機能デザイン研究Ⅰ（2単位）』  
及び『機能デザイン研究Ⅱ（2単位）』

#### ▶ 《機能創成専攻（生体工学領域）》

基礎専門科目：『生体工学ゼミナールⅠ（1単位）』、  
『生体工学ゼミナールⅡ（1単位）』、  
『生体工学研究Ⅰ（2単位）』  
及び『生体工学研究Ⅱ（2単位）』

#### ▶ 《システム創成専攻（電子光科学領域）》

基礎専門科目：『電子光科学ゼミナールⅠ（1単位）』、  
『電子光科学ゼミナールⅡ（1単位）』、  
『電子光科学研究Ⅰ（2単位）』  
及び『電子光科学研究Ⅱ（2単位）』

#### ▶ 《システム創成専攻（システム科学領域）》

基礎専門科目：『システム科学ゼミナールⅠ（1単位）』、  
『システム科学ゼミナールⅡ（1単位）』、  
『システム科学研究Ⅰ（2単位）』  
及び『システム科学研究Ⅱ（2単位）』

#### ▶ 《システム創成専攻（数理科学領域）》

基礎専門科目：『数理科学ゼミナールⅠ（1単位）』、  
『数理科学ゼミナールⅡ（1単位）』、  
『数理科学研究Ⅰ（2単位）』



及び 『数理科学研究Ⅱ(2単位)』

▶ 《システム創成専攻(社会システム数理領域)》

基礎専門科目： 『社会システム数理ゼミナールⅠ(1単位)』、  
『社会システム数理ゼミナールⅡ(1単位)』、  
『社会システム数理研究Ⅰ(2単位)』  
及び 『社会システム数理研究Ⅱ(2単位)』

### 3. 研究科 10 月入学の履修生の科目履修

研究科 10 月入学の履修生(以降 秋入学生)については、いくつかの科目についてのみ、4 月入学の履修生と履修科目が異なります。

#### ◇推奨履修学年参考表(秋入学生)

本プログラム 学年	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	9月
	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		5 年次		
研究科学年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		5 年次		
ヒューマンウェア 領域コア科目	ヒューマンウェア 領域基礎研究 <small>(履修登録しない、 2 章参照)</small>		ヒューマンウェア 融合領域 プロジェクト研究 B		ヒューマンウェア 融合領域 プロジェクト研究 A		ヒューマンウェア PI 融合領域 プロジェクト研究 A		ヒューマンウェア イノベーション 実践特論		次節 (2) 参照
ヒューマンウェア 領域コア科目	ヒューマンウェア イノベーション 創出論 A		ヒューマンウェア セミナー A		ヒューマンウェア 融合領域研究 B						
ヒューマンウェア インターンシップ	次節 (1) 参照		インターンシップ(長期)		インターンシップ(短期)		海外インターンシップ(長期)		海外インターンシップ(短期)		ヒューマンウェア価値創造実践
ヒューマンウェア 領域基礎科目	12 単位以上										
試験など	Pre-QE		R-QE		R-QE						最終 試験

## (1) 【秋入学生】『ヒューマンウェア融合領域研究』の履修方法

「ヒューマンウェア融合領域研究」が指定する科学コミュニケーションに関する座学やワークを含む講義の修得とアウトリーチ活動実践に、原則、履修1年次(研究科1年次後半4月～2年次)に参加することに加え、研究科2年次(10月～翌9月)の在籍研究科における研究の活動実績にて評価する。

「ヒューマンウェア融合領域研究 B」の履修登録を履修1年次の秋冬開講時期(研究科2年次開始時期)に履修登録すること。

## (2) 【秋入学生】『ヒューマンウェア融合領域プロジェクト研究』の履修方法

「ヒューマンウェア融合領域プロジェクト研究」はプログラム履修3年次の融合研究科目である。秋入学生については、①プログラム履修2年次(すなわち研究科2年次後半～3年次前半)の1年間の活動、もしくは②プログラム履修3年次(すなわち研究科3年次後半～4年次前半)の1年間の活動のいずれかで修得すること。

### ①プログラム履修2年次の1年間を選択する場合

「ヒューマンウェア融合領域プロジェクト研究 B」の履修登録を履修2年目の秋冬開講時期(研究科3年次開始時期)に履修登録すること。こちらを履修する場合、プログラム履修3年目に行う進級試験である R-QE は、研究科3年次(プログラム履修2年次)の1月に受験する必要がある。

(実質活動は4月～翌3月の1年間とするが、成績評価は秋開講の科目を履修登録するため9月となる)

### ②プログラム履修3年次の1年間を選択する場合

「ヒューマンウェア融合領域プロジェクト研究 A」の履修登録を履修3年目の春夏開講時期(研究科3年次後半4月時期)に履修登録すること。こちらを履修する場合、プログラム履修3年目に行う進級試験である R-QE は、研究科4年次(プログラム履修3年次)の1月に受験する必要がある。